



中部大学蝶類研究資料館 夏の企画展

日本の消えゆくチョウ と新顔のチョウ

2025年8月1日(金)～9月30日(火)

中部大学附属三浦記念図書館
エントランスホール



○ 展示内容

- 1. 「日本の消えゆくチョウと新顔のチョウ」（標本とパネル）
- 2. 藤岡知夫先生インタビュー・蝶類研究資料館紹介映像
- 3. 日本産全種蝶類図鑑 **New!**（日本産チョウ全種の雌雄・表裏の画像を大画面で観察）
- 4. 中部大学のチョウ **New!**（大学内のチョウの生息地と採取した標本）
- 5. GISコーナー（標本の情報と採取場所を地理情報システムで可視化）

○ 関連イベント

- 1. カラスアゲハを追いかけて、ボクは研究者の卵になりました。（18歳以下限定）
棲（す）む環境で翅（はね）の色が異なる一番美しい（自分比）カラスアゲハを追いかけて
研究者の卵になりました。ボクの冒険は始まったばかりです。
（秘蔵のコレクション公開、質問コーナーあり）

（話し手） 森田洋史（もりたひろし）氏

中部大学大学院応用生物学研究科博士後期課程1年

2000年岐阜県笠松町生まれ。小学生の頃、チョウ好きの母と参加した名和
昆虫博物館の採取会から蝶屋（チョウヤ）人生が始まる。

（開催日） 8月7日（木） 11:00～11:40

（申込方法）先着30名。申し込みはこちらのQRコードまたは電話 →



- 2. ギャラリートーク（各回15分。終了後に質問コーナー）

（開催日） 9月23日（火祝） 13:00 15:00

9月27日（土） 10:00 11:30

（話し手） 北川朝生（きたがわあさお）氏

藤岡知夫蝶類コレクションリスト 編集者。日本鱗翅学会会員。

発行誌「やどりが」編集委員長。今展の主なパネル執筆者。元中学高校の
国語教員で幼少の頃からの蝶屋。推しはシジミチョウ科のブルー系。

○ 展示期間 2025年8月1日（金）～9月30日（火）

8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	休	休	2	3	4	5	休
3	4	5	6	7	休	休	休	8	9	10	11	12	休
休	休	休	休	休	休	休	休	休	16	17	18	19	20
休	休	19	20	21	22	休	休	22	23	24	25	26	27
休	休	26	27	28	29	休	休	29	30				

8月2～4日は大学でオープンキャンパス開催

○ 案内スタッフ13:00-16:00在中

● イベント開催

9:00～16:50
9:30～16:30
9:00～21:00

○ アクセス

- ・JR中央本線「神領（じんりょう）」駅北口
「中部大学バスのりば」から約10分
- ・JR中央本線・愛知環状鉄道「高蔵寺（こうぞうじ）」駅北口
名鉄バス8番のりばより「中部大学」行約10分

中部大学HP
交通アクセス



主催：中部大学
監修：名和昆虫博物館
後援：春日井市教育委員会

【お問い合わせ】
中部大学蝶類研究資料館
愛知県春日井市松本町1200
0568-51-1111（代表）
0568-55-7586（直通）
chubu-chou@fsc.chubu.ac.jp

中部大学蝶類研究資料館は国内随一の規模を誇る貴重な日本産チョウの標本コレクションを
海外流出から守り、未来に遺すために設立されました。